

事務連絡
平成 25 年 3 月 12 日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）のウイルス検査キットの配布について

日頃より感染症対策にご協力賜りありがとうございます。

本年 3 月 4 日より感染症法上の四類感染症として届出対象となった重症熱性血小板減少症候群（SFTS）にかかる検査については、これまで、国立感染症研究所においてのみ実施が可能となっておりますが、今般、厚生労働科学研究班においてウイルス検査キットが開発され、別添の検査マニュアルとともに、3 月 13 日（水）より各地方衛生研究所へ順次配布されることとなりましたので、お知らせいたします。

当面は、別添の検査マニュアルにあるとおり、各地方衛生研究所においての検査に加えて、結果が陽性となった場合は国立感染症研究所でも検査を行う二重チェック体制となりますので、ご承知おきください。

以上、よろしく願いいたします。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）検査のための検体及び その処理法等に関するお願い（検査依頼マニュアル）

2013年3月1日

国立感染症研究所ウイルス第一部

国立感染症研究所ウイルス第一部に重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の検査依頼される方々への検体採取，検体の種類，検査内容，検体送付，手続き等について予め説明いたします。

1. 検体の種類について

（ア）検体の種類

血液，血清，咽頭スワブ，尿（血液，血清が診断のためには最も重要です。咽頭スワブおよび尿についてもお送りいただきたいと思います）。
検体量は 2ml。ただし，少量しかない場合には，ご相談ください。

（イ）剖検例における病理検査については，別途連絡をお願いします。

2. 実施する検査

（ア）ウイルス検出

ウイルス分離，ウイルス遺伝子検出（RT-PCR 法または real-time PCR 法）

（イ）ウイルス抗体検出

IgG-ELISA 法または間接蛍光抗体法

3. 検体の採取および処理法

（ア）急性期患者の診断の場合

急性期患者から採取された血液，血清，尿。血液は生化学的検査用のスピッツに採取し，血清分離等の処理することなく，冷蔵しながらお送りください。なお，末梢血液検査用のスピッツは使用しないでください。（EDTA、ヘパリン、クエン酸などの抗凝固剤は添加しないでください）。

※ 血清分離等の処理をしないのは，検査担当者への感染リスクを低減させるためでもありますので，よろしくをお願いします。

尿は，冷蔵で送付してください。

咽頭スワブは，ウイルス分離用輸送培地に入れて送付してください。

（イ）回復期患者の場合

急性期および回復期血清を送付してください。急性期および回復期における IgG 抗体の有意な上昇を確認しない限り診断はつきません（この診断法が最も確実です）。急性期の血液を既に感染研ウイルス第一部に送

付済みの場合には、回復期の血液または血清のみの送付で結構です。咽頭スワブおよび尿でも送付していただいて結構です。

(ウ) 検体の一次包装

スクリュータイプの蓋はしっかりとしめる、ゴム栓の場合にはしっかりとしめた後にテープで補強する、など検体が一次容器から漏れることのないよう確認してください。

4. 検査依頼の手続き

場合によっては研究ベースでの検査を受けることもありますが、できるだけ行政による検査依頼もご検討ください。

5. 患者情報の提供について

次の情報提供を併せてお願いします。

(ア) 依頼者の情報

検査依頼者（主治医等の所属病院，診療科，連絡先等）

(イ) 患者情報

別添の参考様式を流用していただいて構いません。

(ウ) その他，重要と考えられる事項

6. 送付する方法

(ア) 急性期および回復期患者から採取された血液，咽頭スワブ，尿は三重包装で検体が外部にもれることのないように処理し，冷蔵のまま（凍らせることなく）送付してください。（なお、患者検体については、感染症法に基づく病原体管理規制の対象とはなりません。が、輸送中の漏出事故等、公衆衛生上の危害を及ぼすことのないよう、「感染症発生動向調査事業等においてゆうパックにより検体を送付する際の留意事項について」（平成24年3月15日付け健感発0315第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知）等を参考に、検体の安全な輸送に万全を期して下さい。）

(イ) 既に血清分離し，凍らせている場合には冷凍のままの送付でも結構です。

(ウ) 事務手続き上、受け取れませんので、検体が週末（土日）に感染研に届くことのないようお願いします。

(エ) 到着予定日をあらかじめお教えてください。

(オ) 容器の返送を希望される場合，返送用伝票（着払い）を同封していただくようお願いいたします。

7. 送付先

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園4-7-1

国立感染症研究所（村山庁舎）ウイルス第一部第一室長

下島昌幸

Tel: 042-561-0771 (内線 3320)

Fax: 042-561-2039

E-mail: shimoji@niid.go.jp

8. その他

(ア) 病理検査について

病理学的検査については、事前連絡をいただきますよう、お願いします。

連絡先：国立感染症研究所感染病理部 [電話 03-5285-1111 (代表)]

(イ) 検査に関する問い合わせ先

- 下島昌幸 (国立感染症研究所ウイルス第一部第一室長 ; shimoji@niid.go.jp)
- 福士秀悦 (同主任研究官 ; fukushi@niid.go.jp)
- 西條政幸 (同部長 ; msaijo@niid.go.jp, 〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1 国立感染症研究所ウイルス第一部, 電話 03-4582-2660)

(ウ) 学術 (学会, 論文) 発表に関するお願い

検査成績に基づいた研究成果 (患者報告を含む) を学会や論文発表される場合は事前にご相談ください。

チェックリスト

- : 検体の種類, 量の確認
- : 一次容器
- : 梱包, 三重包装
- : 送付先の確認
- : 容器返却希望時の返送用伝票
- : 送付日および到着日の確認